



RENKEI

第15号

2021.1

発行元

松江市在宅医療・介護連携支援センター TEL: (0852) 61-3741 FAX: (0852) 21-5377

住所: 〒690-0852 島根県松江市千鳥町70番地 松江市総合福祉センター1階 社会福祉法人松江市社会福祉協議会

ホームページもご活用下さい >>>

松江市在宅医療介護

検索



新型コロナ検査外来について

松江市医師会会長 泉 明夫

中国武漢市に端を発した新型コロナウイルス感染症はまたたく間に世界中に拡がり、1年を経た今でも感染が拡大しています。日本においても第3波の真ただ中にあり、なかなか収束しようにありません。

このままでは冬季のインフルエンザ流行と重なり、新型コロナウイルス感染症とツインデミックになる可能性もあり、医療機関ではこれまで以上の危機感を持って取り組む必要があります。

また、2020年11月より発熱患者さんの相談窓口が、帰国者・接触者相談センターからかかりつけ医あるいは最寄りの医療機関にシフトしてきました。かかりつけ医としては、発熱患者さんを診療するためには、新型コロナウイルスの検査が身近なところで、安全、正確、迅速にできる体制を整備する必要がありました。

この度、松江市医師会、松江市、松江市医師会附属臨床検査センターが連携・協力して新型コロナウイルスに特化した松江地域検査センターを松江市嫁島町2丁目(松江市医師会館裏側)に設置、10月30日より毎日稼働しています。検査は唾液による抗原定量検査であり、精度はPCRと同等、短時間(2~3時間以内)で結果が判明、感染リスクが少ない、安価などが特徴です。

松江市医師会として、市民の皆様の健康を守るため、早期発見、治療をすること、感染拡大を防止することが使命と考えていますが、医療従事者の安全を確保すること、院内感染を防止することも重要な課題であります。

市民の皆様へのお願いです

- ①発熱、咳、倦怠感などの体調不良を感じたら、まず、かかりつけ医あるいは最寄りの医療機関に電話で相談して下さい。
- ②来院される前には必ず電話をして下さい。受診時には必ずマスクを着用して下さい。
- ③各医療機関では、感染を防止するため、発熱患者さんを一般患者さんと時間的、空間的に分離、電話診療、車内診療あるいは発熱外来での診療などの様々な措置を行っていますのでご理解をお願いします。

最後に、施設内における感染対策、検査手順をしっかりと確認して、施設内感染を防ぐようにしてください。

「医療機関の役割を知っていますか」リーフレットが出来ました

「地域医療構想」の下、病院は、病棟機能別に運用され、従来の病院完結型ではなくなってきています。地域住民の方々もその理解が進み、「病院には長くいることが出来ない」という認識を持つようになりました。

一方で、「病院には長くいることが出来ないらしい。何がどのようになっているのかわからない。病院から追いだされる」という地域住民から不安の声も未だにあるようです。また、福祉・介護職からは、「病床運用が目まぐるしく変化し、その機能の理解が不十分」との

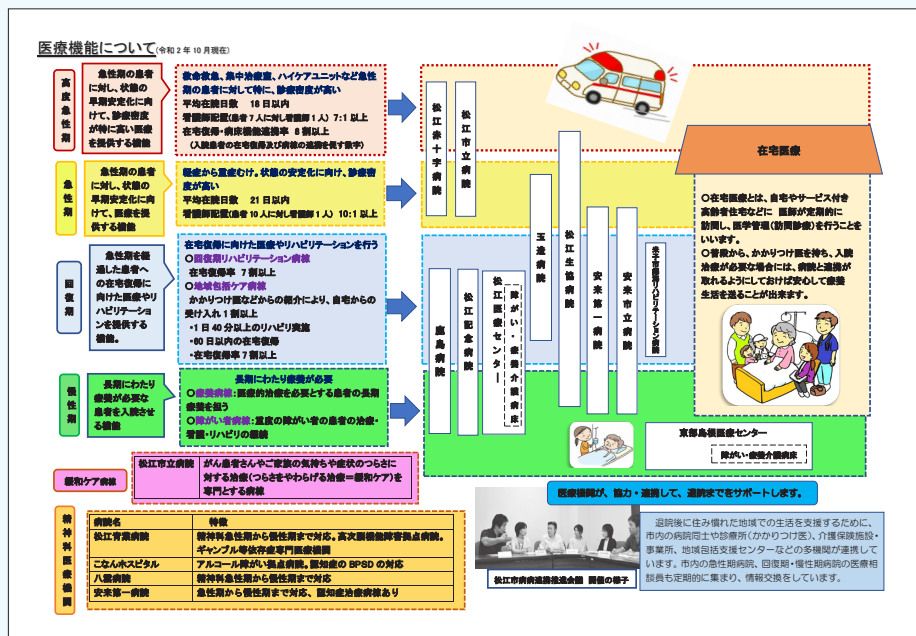
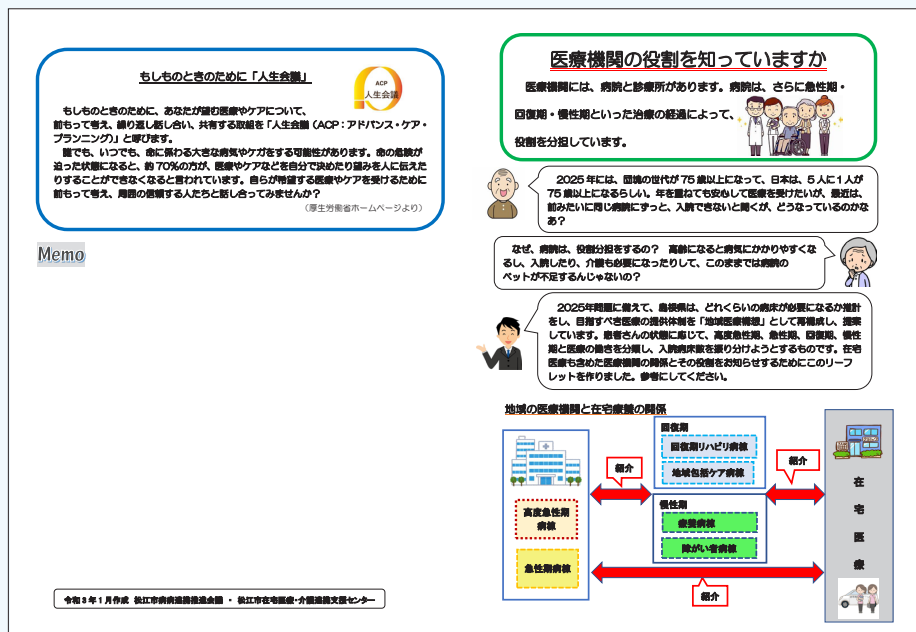
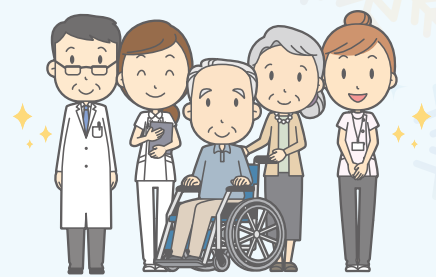
声も絶えない状況であることも事実です。

これまで、各病院は、各々の機能の役割に沿い、その役割を地域住民の方々に説明してきました。ただ、統一した資料がなく、その説明は各々に一任されてきました。

そこで、地域住民のみならず、説明する病院職員、病院を利用するすべての人に分かりやすい説明資料が必要ではないかと考えました。松江市病院連携推進会議(松江市内の地域医療連携に携わる方々の集まり)と当センターと協働で話し合いを重ね、「地域医療構想」を基にこのリーフレットを作成しました。

当センターのホームページにも掲載します(下記)。ダウンロード可能ですので、必要に合わせてご利用下さい。よろしくお願いします。

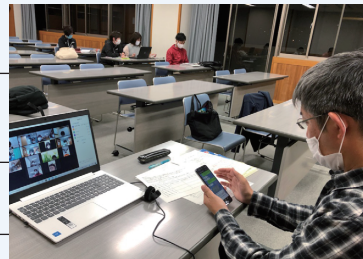
[松江市在宅医療・介護連携支援センター](#)➤[地域の医療・介護の資料集](#)➤[医療 病棟機能リーフレット](#)



オンラインでつながろう

コロナ禍で、集まることが難しい中、少しずつオンラインの活用がはじまっています。今回、各方面での取り組みを紹介します

研 修	医介センター把握分(12月末) ①1月14、16日 ケアマネ・包括向け 「コロナ対策研修」 ②1月23日 糖尿病対応力向上セミナー ③3月10日 松江圏域重症神経難病患者の介護支援専門員連絡会 「難病治療の決定と選択」 ※いずれも Zoom を使用しての研修となります。③は来場研修併用予定
会 議	・感染拡大の際、集まらない時に備えて、Zoom 会議を実施 ・ケアマネ協会役員会 ・訪問看護ステーション所長会 など
施設での面会	タブレット端末などを使用しての面会
入退院時の情報共有	・まめネットを使用してのカンファレンス、褥瘡処置の引継ぎ等 ・面会制限があるため病棟(患者)とカンファレンス室をつないで、退院カンファを開催 ・リハビリの様子をビデオに撮って家族や在宅サービス関係者に見てもらう

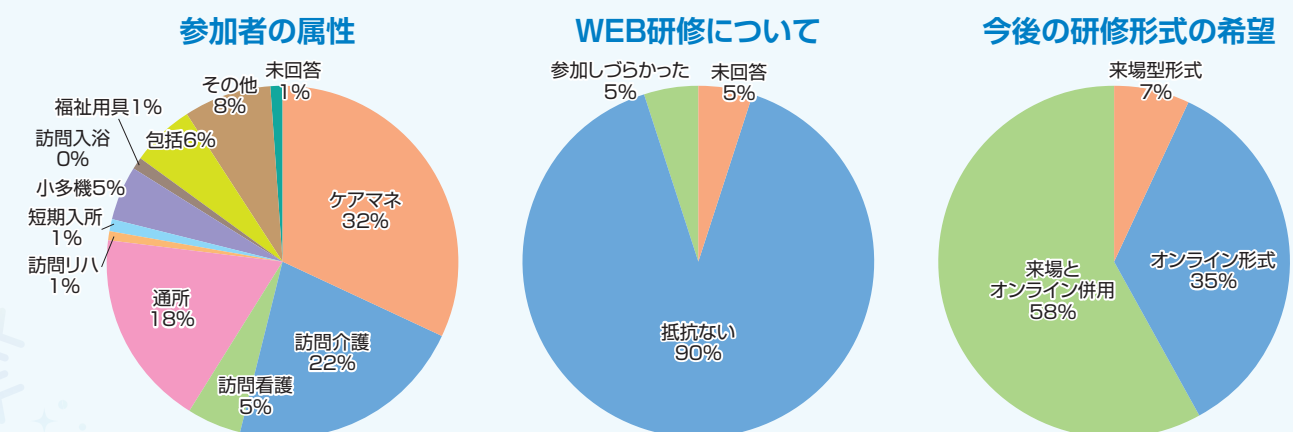


在宅サービス事業者向け感染症対策研修会

～YouTube動画視聴で開催しました～

研修内容	①新型コロナウイルス感染症の基礎知識 ②標準予防策(スタンダードプリコーション)、手洗い、消毒等について ③通所・訪問サービス事業所での感染者発生時の松江保健所の対応 ④通所施設及び在宅での感染者発生時の備えと支援
講 師	松江市・島根県共同設置松江保健所、松江市健康部健康政策課・介護保険課
動画視聴	120事業所から申し込み、再生回数707回 集合研修 11月20日に2回上映、16名参加

新型コロナウイルス感染症対策のため、11月、12月に上記の通り、研修会を開催しました。今回は、集合研修がなかなか難しいこともあり、申込みをされた事業者の方へ、説明用パワーポイントにナレーションを入れた1時間程度の動画のURLと資料を送付させていただく方法をとりました。事業所の勉強会として、個人のスマホで…といういろいろな形で視聴していただいたようです。今後も工夫しながら情報をお伝えしていきます。



感想の抜粋

- ・デイサービス・ヘルパー:研修に全員で参加することは難しいが、動画だったので、事業所で都合のよい時間に視聴し、共有することができ、よかった
- ・感染者が発生した場合のシミュレーションをしておくことの必要性を感じた。
- ・事例での説明(他県で感染者対応の経験も踏まえて)もあったらよかった

**地域の食を支えるために、
新しい地域連携の在り方を創造しませんか**
～「松江の食と栄養に関する連携を考える会」の開催～

令和2年度 第1回「松江の食と栄養に関する連携を考える会」が、WEBを用いて開催されました。
今回は、以下の2台の発表がありました。

●演題1:「出雲のD2会の挑戦～食のバトンを繋ぐために～」

出雲市介護老人保健施設ケアセンターかんの里 管理栄養士・遊木真由美さん

「出雲D2の会」とは、Discussion(ディスカッション)・Dietitian(ダイエテシアン＝管理栄養士)の頭文字の文字を取り、「D2の会」としたそうです。多職種で、安全・安心できる食の提供をめざし、連携共通ツールの食形態ファイル、栄養の情報提供サマリーなど、作成・運用してきた経過と成果の発表でした。食形態については、出雲保健所ホームページからご覧になれます。(出雲保健所 食形態>島根県:食形態ファイルについて [をクリック](#))

●演題2:「栄養士・調理師養成施設(専門学校)と病院との連携～人材育成の事例紹介～」

松江栄養調理製菓専門学校

今、病院・施設は、食に関係する人材不足が深刻になりつつあります。特に、調理師の人材が不足し、食の提供が難しくなることが懸念されています。病院・施設との連携で、実地実習を取り入れることで、学生が、働く場の選択肢が増えたことや人材育成を考えた松江日赤管理栄養士育成制度などの事例報告がありました。

いずれにしても、地元の人材を地元産業の現場に利用する今後を見据えた活動の発表でした。



Information ～活用しよう！いろいろな情報～

当センター ホームページからの情報紹介

☆パソコン、プロジェクターの貸出をはじめました

医療・介護関係者の方の研修に使っていただくためのものです(無料)
在宅医療・介護連携支援センターまでお問い合わせください。

連絡先:TEL 0852-61-3741



☆訪問看護ステーション 連絡票 使用開始

地域住民が、安心して在宅生活を送るために、医療と介護の関係機関の連携が必要です。

島根県訪問看護ステーション協会松江支部では、医療と介護の関係者が、日頃からお互いの情報交換を円滑に行うことが必要であると考えています。今回、効率的・効果的に連携推進することを目的に松江市在宅医療・介護連携支援センターと協働し「訪問看護ステーション連絡票」を作成、運用することになりました。

運用は、令和2年12月16日より開始です。

☆松江市内病院面会について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い松江市内の病院の面会方法が、通常より変化しています。松江市の各病院のご協力を得て、「松江市内病院面会について一覧表」を改正いたしました。ご活用ください。

当センターのホームページからもご覧になれます。

松江市在宅医療・介護連携支援センター>新型コロナウイルス関連情報>松江市内病院面会について

[illegible]